



ゆったりとした洗面台と脱衣スペース。浴室も広く、大きいテレビを備えているからゆったりと時間を過ごす

●物件データ

敷地面積：214.92㎡ (65.01坪)
 延床面積：105.60㎡ (31.94坪)
 工法：木造軸組工法(高気密・外断熱仕様)
 モデルハウス販売中! ※詳しくはお問い合わせ下さい。

●会社データ

社名/相互住宅株式会社
 建設業許可番号/
 千葉県知事許可(般-19)44241号
 住所/千葉県市原市五井中央東1-8-1
 電話番号/0436-24-7710
 FAX番号/0436-24-7869
 URL/www.sjgt.co.jp
 E-mail/info@sjgt.co.jp
 資本金/1,000万円
 設立/1961年10月
 従業員数/3人
 施工エリア/市原市、千葉市、茂原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、他3町
 施工実績/6棟(2007年度)
 工法/木造軸組工法
 アフター/
 引渡し日から6ヶ月、1年、2年目の定期点検

現場レポートや施工事例集が満載!!
 詳しくはWEBへ

相互住宅 市原

●社長Message



家というのは、家族構成や生活スタイル、趣味や価値観などによって人それぞれ求めるものが違ってきます。お客様の要望を丁寧に聞き取り、新居での温かく楽しい生活を想像しながら創造していく。それが相互住宅の理念です。設計施工一貫体制で、アフターまでお任せ下さい。

代表取締役 横田 俊司さん

相互住宅 株式会社

資料請求・お問い合わせは

巻末ハガキから

個別請求...No.14

お電話から

☎ 0436-24-7710



2階の寝室の窓から見えるらせん階段とリビング。階段を上ると左右に廊下が伸び、まるで回廊のように部屋まで続く



2階の廊下には天窗を2ヶ所を設け、家全体が明るくなるよう工夫を施した
 シンプルで使い勝手の良いダイニングキッチン。家事の合間の休憩は、明るいうッドデッキが大活躍

「例えば間取りが決まってしまうから車の配置を考えると、どうやっても入らなくなってしまう。そんなことにならないように、設計で最初に考えるのは駐車場の配置から」

また、必要以上に小さい部屋を造らないのが横田流の設計術。開放感と、親子のコミュニケーションを確保しやすい間取りを実現するため。特に子ども部屋は、家族環境の変化に対応できるように可動式収納で仕切れるよう工夫されている。食洗機や浴室乾燥機などの設備も、自分で使ってみて効果の高いものは積極的に提案する。ご自身も共働きの、家事の苦勞を奥様と分かち合っている横田社長らしい心遣いだ。将来の生活も考慮し、老後も楽に昇り降りができるよう階段の一段を20cm以下にするなど、先を見越した工夫も随所に活かしている。

隣家の窓や車の配置などひとつひとつきちんと考えながら間取りを決めていきます。」と話す横田社長。同社の家づくりは、まずお客様の希望を丁寧に聞くことから始まる。お客様と良く話し合い、理想を実現できるような考え、設計する。その上でアイデアを提案し、より満足度の高い家づくりへと導いてくれる。

横田社長が建築家を目指すそうと思いついたのは少年の頃。自宅の増築に来た大工さんたちの仕事を夢中になって見ていたそう。大手建設会社に就職してからはマンションの建設などにかかわっていたが「誰が使うか分からない。住む人の顔が見えない。」と、仕事に物足りなさを感じていたそう。住宅建設に転じた今は「最初の段階からお客様の顔を見てプランを考えられます。一緒に家をつくる喜びを共有できるし、お客様の笑顔が見えるんです。ものすごくやりがいを感じています。」と嬉しそうに話してくれた。

また不動産業も行っている同社。充実した土地情報はもちろん、住宅ローンの相談に対応してくれる。大切な家づくりをじっくり丁寧にしたい人は、ぜひ一度、同社の家づくりの姿勢を見てもらいたい。



寛ぎの休日や楽しいパーティー。いろいろな使い方を想像して夢が膨らむウッドデッキ

要望を丁寧に聞き取り、
 楽しい生活を想像しながら
 居住空間を創造する家づくり



リビングにあるアルミのらせん階段は家の中央に配し、広々としたおしゃやれて贅沢な空間を演出している。小窓を開ければ2階の部屋にも声が響く。楽しい家族の生活が見えるようだ



存在感抜群の梁が目玉を引くリビングの吹き抜け。その先には明るいうッドデッキが見える

温かく居心地の良い
 環境共生住宅

設立から47年、多くの顧客に支持され続ける相互住宅株式会社。流行を先取りした先進の外観デザインの家から、大好評の「家事クルクルプラン」奥様にやさしい家や「プラスαの収納がある家」など、生活提案型の家まで幅広く、その設計力・施工力を発揮する。

今回訪ねた相互住宅のモデルハウスは、横田社長の提案する「自分スタイルの家」シリーズの一つとして誕生した。「日頃はお客様の希望を最優先にしているのですが、自分の提案を形にして見てもらう場があっても良いのではないか」という思いからつくったそう。

この「吹き抜けらせん階段の家」のリビングにあるアルミのらせん階段は、横田社長が二度使ってみた「以前から目をつけていたそう。これを取り入れる前提で、間取りのイメージを考えたい」という。また、高い気密性と外断熱により、冬温かく、夏涼しくなるので、空調の電気代を節約できる。外壁材は色あせにくく、汚れが落ちやすい光触媒仕様を採用し、